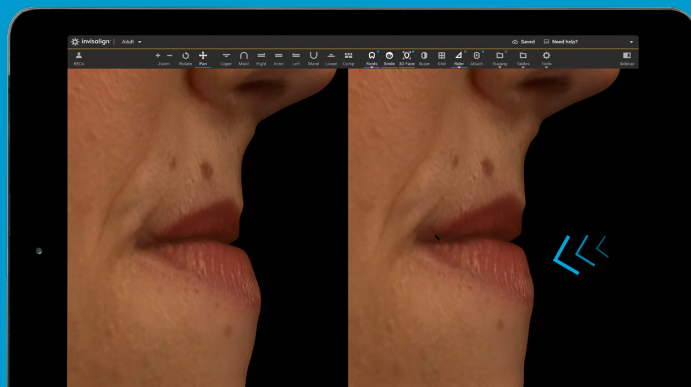


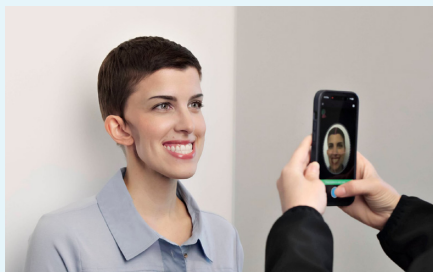
Invisalign® 3D Face Scan 3D Tissue Animation クイックスタートガイド



クリンチェック® 治療計画を次のステージへ

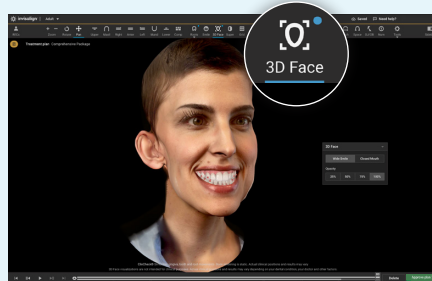
「3D Tissue Animation」機能は、患者ごとに撮影した3D顔貌データ（ワイドスマイル+口を閉じた状態）をクリンチェック®ソフトウェアに反映し、治療終了時点での患者様の顔面軟組織の変化をシミュレーションします。Invisalign®Practiceアプリ上で取得した3D顔貌データは、クリンチェック®ソフトウェアに自動で反映されるため、追加操作は必要ありません。

Invisalign® Practiceアプリで撮影



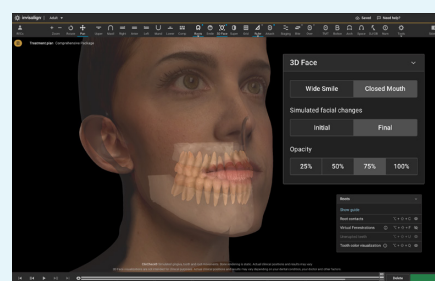
対応デバイス（iPhone 10以降、iPad、iOS 16以降のみ）でご利用いただける「Invisalign®Practiceアプリ」を画面上でのガイダンスに従って操作することで、ワイドスマイルや口を閉じた状態のスキャンを素早く簡単に撮影できます。

クリンチェック® 治療計画上に反映



3D Face Scanデータは自動的に患者記録に紐付けられます。クリンチェック®治療計画の作成が完了すると、ツールバーで「3D Face」ビューを有効にするだけで、ソフトウェア上に3D顔貌データが表示されます。

包括的に治療計画を可視化



レビューモード*では、回転や不透明度の調整、口腔内画像やCBCTデータに基づく評価を、すべて一か所で行うことができます。「口を閉じた状態」を選択し、「初診時」と「完了時」を切り替えて、シミュレーション上の軟組織の変化をご確認いただけます。

主要な利点

顔貌を起点とした治療シミュレーション

治療計画の初期段階から、顔全体のバランスやプロポーション、笑顔の審美性まで考慮した治療計画を立てることができます。

より円滑なコミュニケーション

患者様に、治療によって顔貌がどのように変化するかを説明するだけでなく、視覚的にお見せすることができます。患者様一人ひとりに合わせた3D可視化により、治療への理解を深めるためのツールとしてご活用いただけます。

治療への納得度を高める

一般的なシミュレーションではなく、ご自身の顔で治療後のイメージを確認することで、治療のゴールをより具体的に理解できます。

シームレスな統合

新しいデバイスは必要ありません。「3D Tissue Animation」は、アライン™ デジタル・ワークフローおよびクリンチェック®ソフトウェアに組み込まれているため、これまでのワークフローをそのまま維持できます。

*本機能で表示される画像・シミュレーションは治療計画立案および患者説明を補助するための参考情報です。実際の治療結果や顔貌・軟組織の変化を保証するものではなく、結果には個人差があります。

3D Tissue Animationはどのような場合に使用しますか？

本機能は、治療計画の主なテーマが審美的（笑顔の印象や顔貌）である場合や、クラスII、クラスIII、開咬、過蓋咬合、歯列の叢生、空隙歯列、顔面の非対称性などに対して、参考となるシミュレーションをご覧いただけます。

- 「口を閉じた状態の3D Face Scan」を用いて、顔面の対称性、垂直的プロポーション、口唇の状態を評価し、治療計画の立案に有益な情報を得ることができます。
- 「ワイドスマイルの3D Face Scan」を用いて、笑顔の審美的性、歯肉露出、バッカルコリドーを分析し、バランスを考慮したスマイルデザイン設計をサポートします。

ステップ1: Invisalign® Practice アプリの操作方法

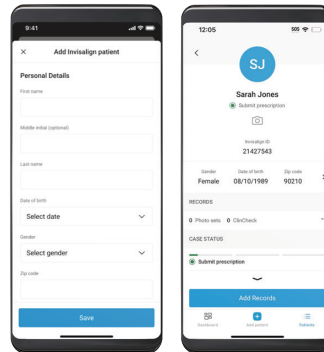
アプリで3D Face Scanにアクセスするには：

01



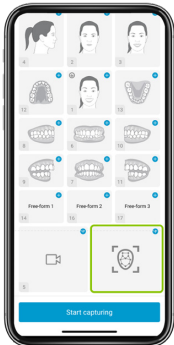
- ダッシュボードの下部をタップして、「患者」または「見込み患者」を追加します

02



- フォームへの入力を完了してください

03



- 記録をキャプチャして保存してください
- Invisalign® Practice アプリで3D Face Scanにアクセスします
 - 他の記録がすでにキャプチャされている場合は、「初診時のオーダー」の下にある3D Face Scanまでスクロールするか、「記録：初診時の写真スキャン」からアクセスしてください

04



- 撮影を開始
- 画面右上の情報アイコンから、いつでもチュートリアルをご覧いただけます。

注：3D Face Scanは、あくまで初診時の写真撮影においてのみご利用いただけます（進行状況や最終的な写真には使用できません）

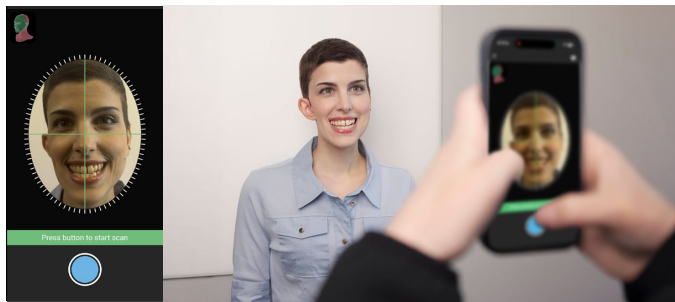
対応端末：

- iPhone 10以降、またはiPad
- iOS 16以降
- Invisalign® Practice アプリ — App Storeから最新バージョンに更新してください
- 確実なスキャンデータのアップロードには、Wi-Fiネットワークのご利用をお勧めします

ステップ2: 「ワイドスマイル」と「口を閉じた状態」を撮影する

患者様には、以下の内容をお伝えください:

- メガネやアクセサリーを含め、頭、首、顔を覆うものはすべて外す
- 髪は耳の後ろにまとめる
- 照明の明るい無地の背景の前に、立つ、もしくは座る
- スキャン中は、視線を定めて、表情を変えない
- スキャン撮影時には、正しい表情を保つこと:
 - 「ワイドスマイル」: 上下の歯がしっかり見えている状態
 - 「口を閉じた状態」: 唇を閉じた状態
- 撮影中は動かない



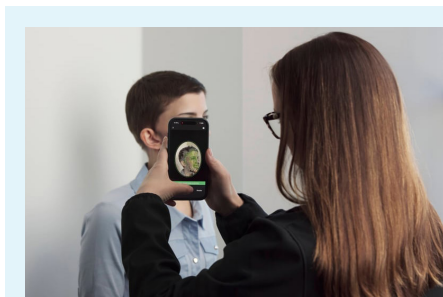
笑った状態(ワイドスマイル)のスキャン

- 患者様にまっすぐ前を見て、歯をできるだけ多く見せるように、大きく大げさな笑顔を保つよう指示してください。
- ガイドラインが緑色になるまで、顔をフレーム内に合わせます。
- 青いボタンを押して開始してください。スキャンには通常、約15〜20秒かかります。



口を閉じた状態のスキャン

- 患者様に、口を完全に閉じた状態でまっすぐ前を見るよう指示してください。
- ガイドラインが緑色になるまで、顔をフレーム内に合わせます。
- ガイドラインが緑色に変わって初めて、青いボタンが有効となり、スキャンが開始されます。スキャンには通常、約15〜20秒かかります。



クロスパターンスキャン法

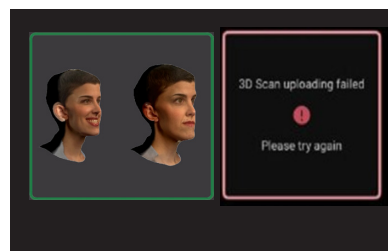
- モバイル端末を患者様の真正面に配置してください。
- 横方向に移動して、顔の左右それぞれをスキャンします(左側をスキャンするには右へ、右側をスキャンするには左へ移動します)。
- 正面に位置を戻し、今度は上下に端末を動かして、顔全体をスキャンしてください。
- 画面上の指示に従い、楕円形のクロスパターンが完全に緑色になるまでスキャンを続けます。

※**重要事項**: クリンチェック・ソフトウェアで3D Tissue Animationを有効にするには、「口を閉じた状態」でのスキャンが必要です。これを省略すると、3D Face Scanは静止画のみとなります。

ステップ3: スキャンした画像の確認と提出

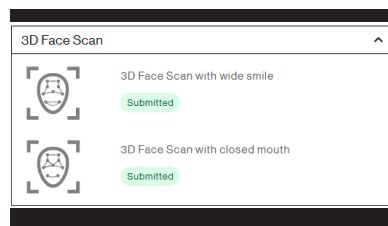
- 撮影後、データ処理に約30〜60秒ほどかかります。
- 各スキャン画像を必ず確認し、必要に応じて再撮影してください。
- 「ワイドスマイル」と「口を閉じた状態」の両方のスキャン画像を提出してください。
- 処方書を正式に提出する前に、両方のスキャン画像がアップロードされ、インビザライン・ドクターサイト (IDS) で閲覧可能になっていることを確認してください:
 - 「3D Face Scan」セクション内にあります
 - 各スキャン画像には、緑色の「提出済み」ステータスが表示されます

データアップロード状況のインジケーター



アップロード完了 アップロード失敗

- 「データ (記録) をアップロードする」をタップし、再試行してください
- 引き続き問題が発生する場合は、Wi-Fi接続が安定していることをご確認ください

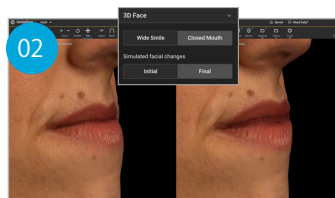


IDSへの3D Face Scan データの提出が完了 しました

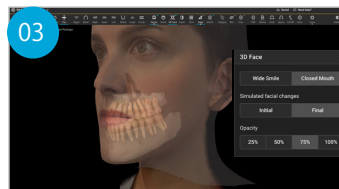
ステップ4: クリンチェック・ソフトウェアで3D Tissue Animationを表示する



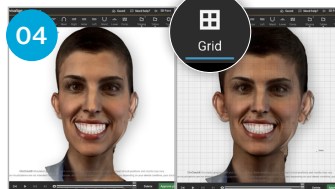
ツールバーから「3D Face」ビューを選択します。
再生ボタンを押してアニメーションを再生するか、3D Faceを回転させて、さまざまな角度から確認してください。



「3D Face」メニューから「口を閉じた状態」を選択すると、3D Tissue Animationが有効になります。「最初」と「最終」を切り替えて、顔貌変化のシミュレーションをご確認ください。



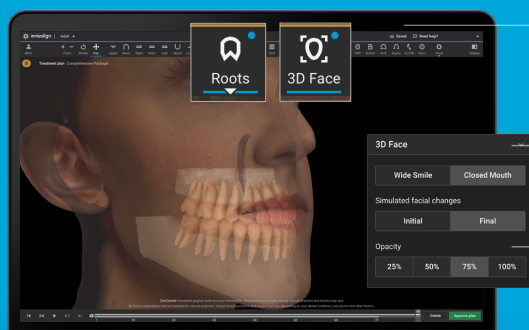
3D Faceモデルの不透明度を調整し、基盤となる歯や歯肉を鮮明に確認できるようにするとともに、CBCTデータと並べて表示することで、解剖学的背景情報をさらに把握できます（該当データがある場合、あくまで視覚的な参考としてご利用ください）。



グリッドツールを使用して、3Dの歪みを補正し、正投影ビューを有効化します。

補綴モードでの可視化 (Smile Architect症例の場合)

- Invisalign® Smile Architectの複数の治療計画オプションが利用可能な場合は、3D Faceビューを参照しながら、治療オプションについて患者様と話し合う際にご活用ください。



ツールバーのアイコン - 選択して表示を有効にします。

3D Faceメニュー - このメニューを切り替えて、表示や歯牙の位置を変更します。

不透明度の設定

追加情報

スキヤンの管理

削除

- 3D Face Scanは、症例処方書の提出前であれば、Invisalign® Practiceアプリ内で削除することができます。
- 処方書が提出されると、削除はできなくなります

差し替え

- 処方書の提出前であれば、アプリ内で再撮影し、新しいスキヤンをアップロードすることで、差し替えることができます。
- 処方書が提出されると、差し替えはできなくなります。

製品の互換性

- 3D Face Scan / 3D Tissue Animationは、クリンチェック・レビューモードでのみご利用いただけます。
- インビザラインGo™では、静止画の3D Face Scanのみご利用いただけます。
- スキヤン機能は、iPhone 10以降、iPad、iOS 16以降などの対応デバイス上のInvisalign® Practice アプリでのみご利用いただけます。

販売名: クリンチェック・ソフトウェア

一般的名称: 歯科矯正用治療支援プログラム

医療機器承認番号: 23000BZX00197000

特定保守管理医療機器への該当性: 非該当

▼ 今すぐInvisalign® Practice アプリを更新し、スキヤンを開始しましょう。



align

© 2026 Align Technology, Inc. Align、Invisalign、スターフラワーマーク、Invisalign Smile Architect™、Invisalign® Practice アプリ、インビザラインGo、およびクリンチェックは、Align Technology, Inc.の商標です。

230400 RevA

